

# 令和 4 年度美瑛町町勢要覧

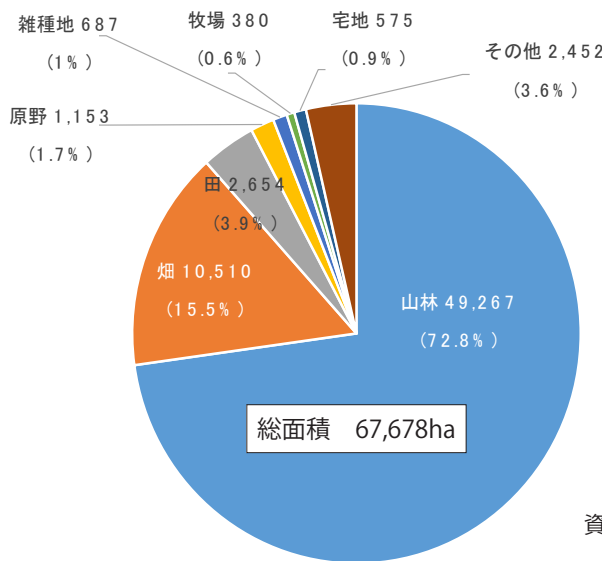
◎位置・面積

北緯 43 度 35 分・東経 142 度 28 分の北海道のほぼ中央に位置し、旭川市・芦別市・東神楽町など 2 市 6 町に隣接しています。地勢は波状丘陵を呈し、畑が開けています。地質は東部山麓が石英粗面岩質、西部が湖成洪積土壌ですが、大部分を河成沖積土壌が占めています。



気象は、年の平均気温は 5.2℃、年間降水量は 1,000mm となっており、寒暖の差が激しい内陸性の気候で、明確な春夏秋冬の美しい自然に恵まれています。

図1 土地の利用状況（地目別面積）



資料：令和 4 年度土地に関する概要調査等報告書

◎人口

第 5 次美瑛町まちづくり総合計画では、足腰の強い産業の育成による雇用の創出に努めるとともに、従来から継承してきた町民の幸福の創造を目的としたまちづくりを進め、令和 7 年（2025）には、9,300 人程を維持できる規模を目標としています。

なお、令和 4 年 3 月 31 日現在の人口は、9,609 人となっています。

図2 男女別人口（人）

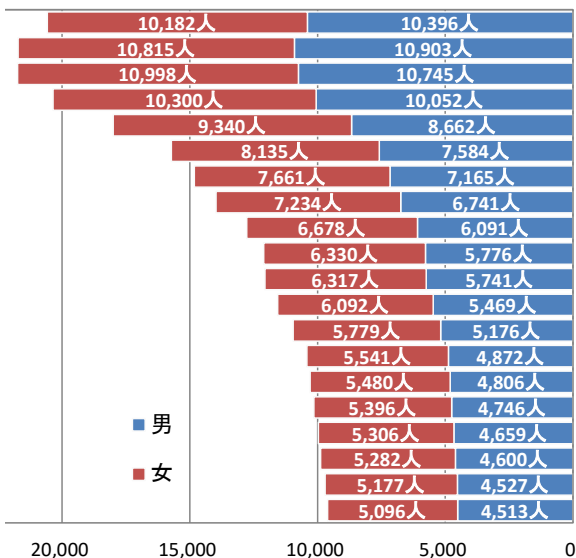
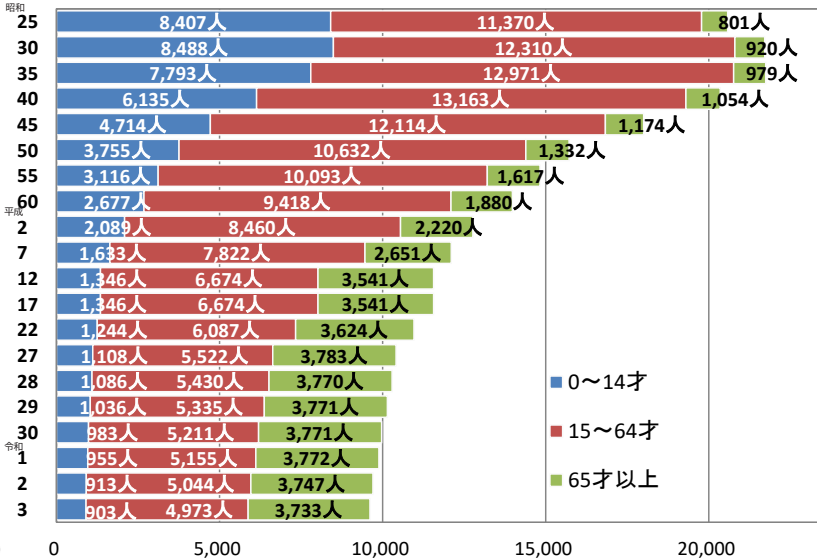


図3 年齢別人口（人）



◎財政

表1 各会計予算集計表（令和4年度当初予算）

会計区分		予算額	
一般会計		10,382,000千円	
特別会計	老人保健施設事業特別会計	106,210千円	
	農業研修施設事業特別会計	20,426千円	
	水力発電事業特別会計	31,683千円	
	白金泉源事業特別会計	135,381千円	
	公共下水道事業特別会計	302,030千円	
	計	595,730千円	
企業会計	水道事業	収益的支出	306,724千円
		資本的支出	117,426千円
	小計	424,150千円	
	病院事業	収益的支出	1,175,730千円
		資本的支出	199,932千円
	小計	1,375,662千円	
計	1,799,812千円		
合計		12,777,542千円	

図4 一般会計予算額の推移（単位：千円）

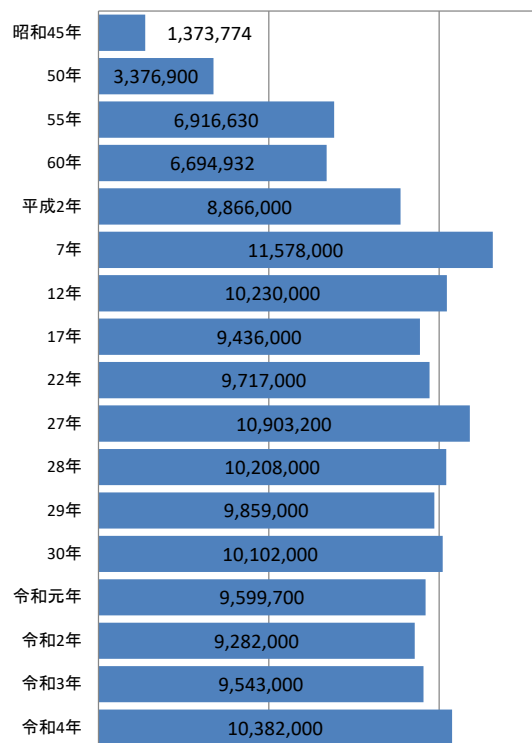
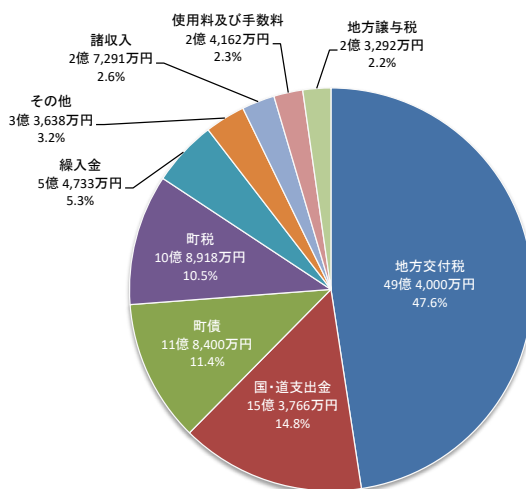
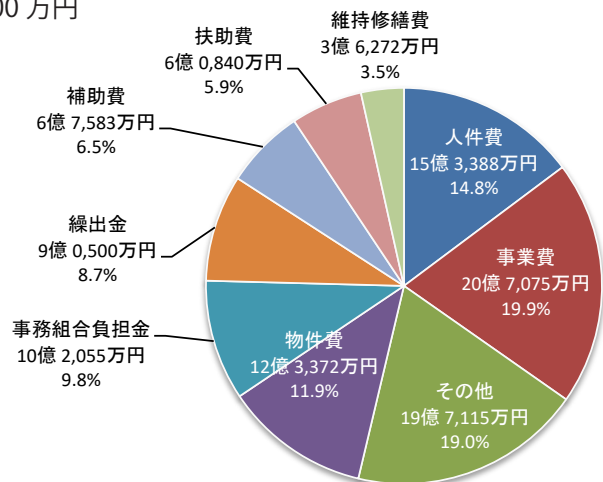


図5 令和4年度一般会計予算

歳入予算 103億8,200万円



歳出予算 103億8,200万円



◎行政

表2 住民組織（令和4年3月31日現在）

行政区	集 落 会			町 内 会		
	会数	班数	会員数	会数	班数	会員数
32	92	142	1,059	37	206	2,911

表3 町職員（令和4年4月1日現在）

	町長部局	議会事務局	監査委員事務局	農業委員会事務局	選挙管理委員会事務局	教育委員会
定 数	238（内 85 は町立病院）	4	1	4	1	27
現員数	182（内 60 は町立病院）	3	兼 3	3	兼 7	23

表4 選挙人名簿登録人数（令和4年3月31日現在）

	男	女	合計
人 数	3,947	4,483	8,430

図6 議会構成

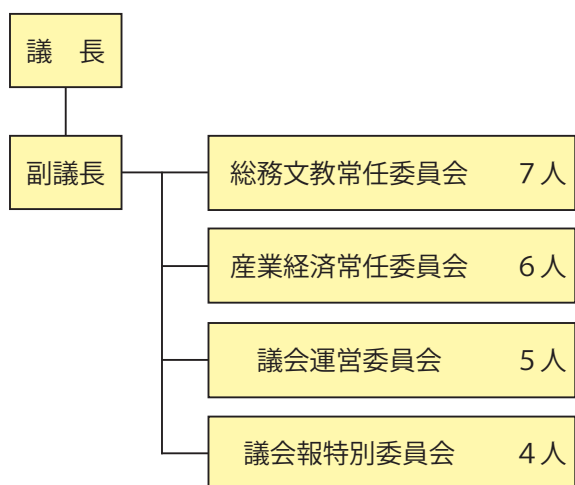
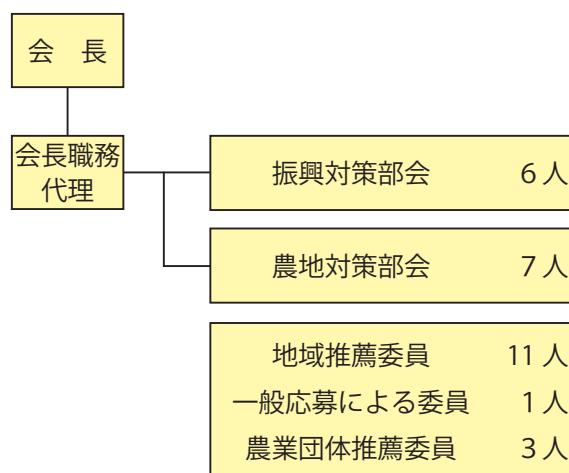


図7 農業委員会構成



◎機構図 (令和4年4月1日現在)

図8 美瑛町機構図

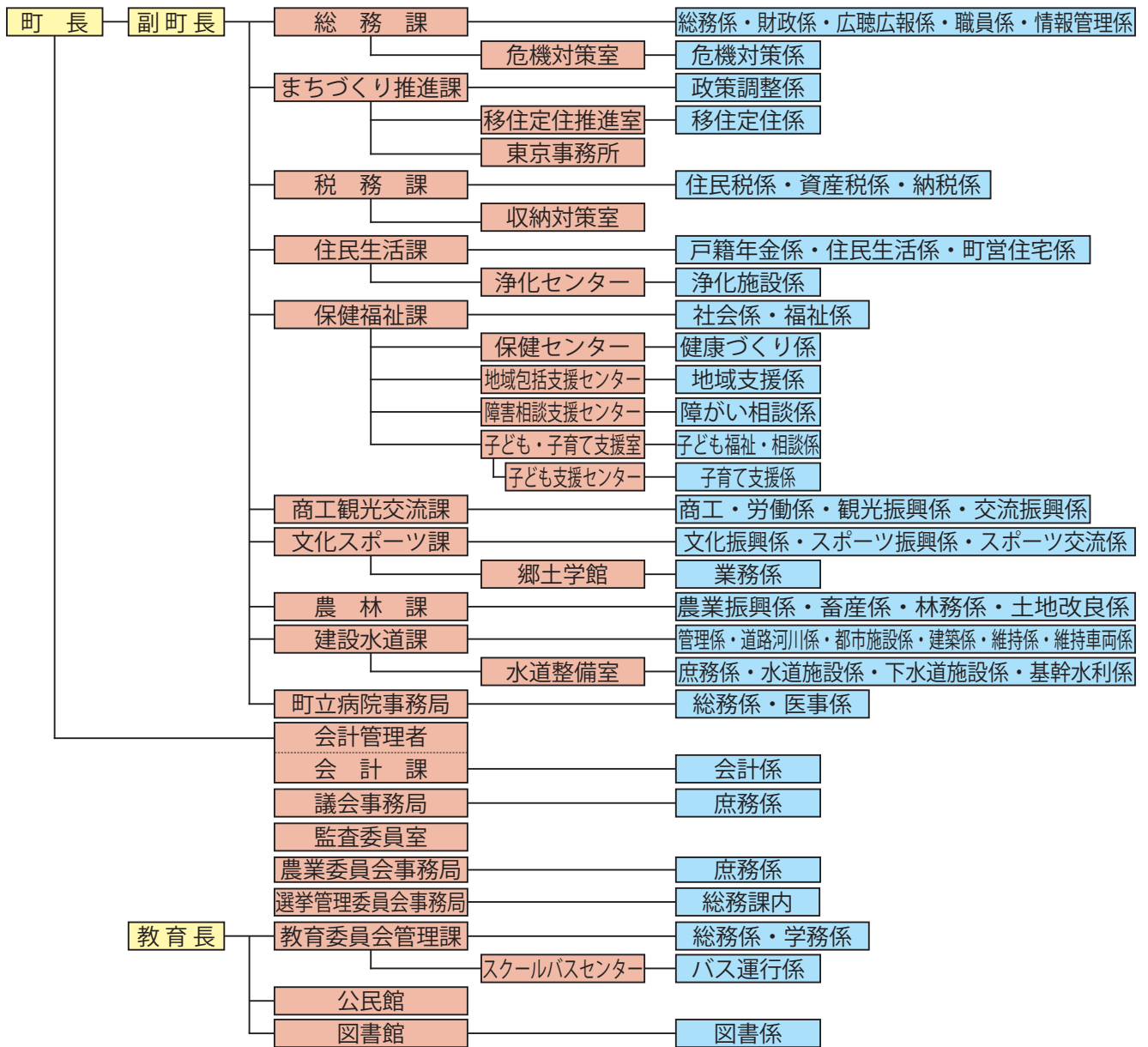


図9-1 一部事務組合機構図 (美瑛・東川・東神楽3町で構成)

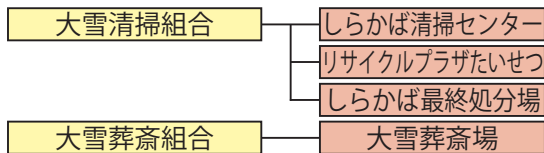


図9-2 一部事務組合機構図 (美瑛・東川・東神楽・当麻・比布・愛別6町で構成)

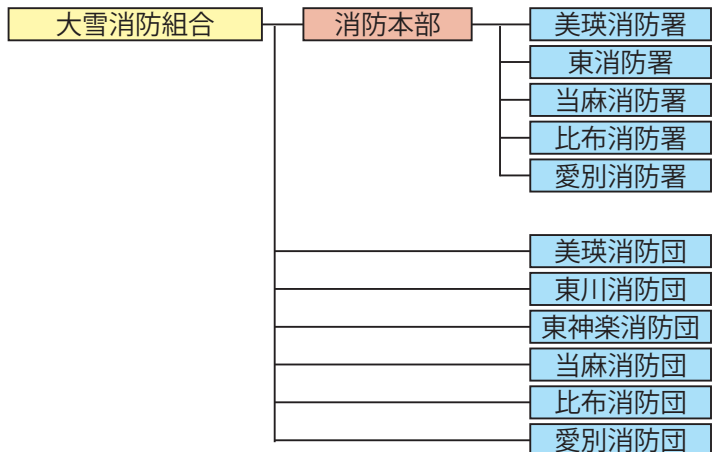
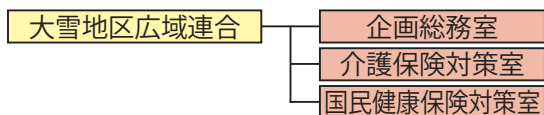


図10 広域連合機構図 (美瑛・東川・東神楽3町で構成)



◎農林業

美瑛町の農業は、畑作と稲作により発展してきましたが、近年では水田の転作による施設野菜や高収益作物の栽培も盛んとなり、田・野菜複合や畑・野菜複合などの複合経営も多くなっています。独特の波状丘陵の台地に畑が広がり、丘陵をめぐって流れる河川流域が水田地帯となっているのが特徴で、国土や環境の維持・保全機能は勿論のこと、人の心に癒しや安らぎを与える美しい農村景観を目的に多くの人を訪れるようになり、観光資源としても、本町の地域経済の基盤として大きな役割を果たしています。



しかし、本町においても農業者の高齢化は深刻な問題となっており、さらに担い手・後継者不足や離農により、農家戸数が減少するなど、遊休農地の発生や地域社会・集落機能の低下が危惧されています。これらの課題を解決するため、新規就農者向けの支援やスマート農業の導入、農福連携の取組等を進めています。

表5 農業経営体数の推移

年代	法人経営体	個人経営体
平成17年	17	591
平成22年	28	529
平成27年	40	459
令和2年	44	362

図11 経営規模（令和2年）

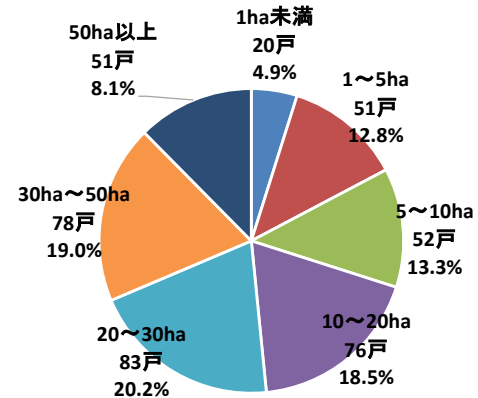


表5・図11 資料：農林業センサス

図12 耕地面積（令和4年2月現在） 資料：北海道農林水産統計年報



図13 主要作物の作付状況（令和4年2月現在） 資料：区域内農業生産実績（JA）



図14 農業生産額（令和3年度）（百万円） 資料：区域内農業生産実績（JA）



図15 飼育頭数（令和4年2月現在）（頭・羽） 資料：北海道農林水産統計年報

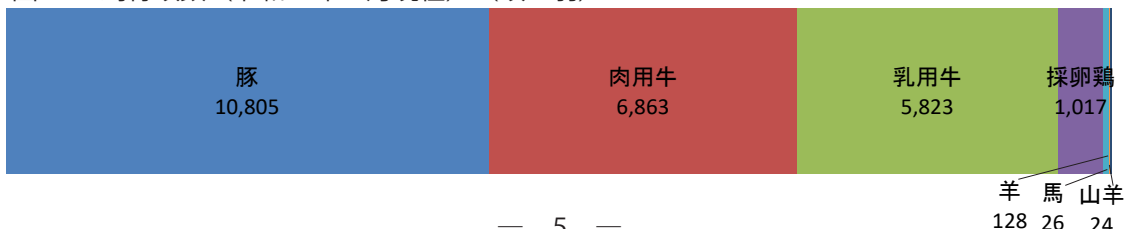


表6 農業ダム施設一覧表（令和4年4月1日現在）

ダム名	河川名	所在地	事業目的	施工年	流域面積 (km <sup>2</sup> )	総貯水量 (千 m <sup>3</sup> )	有効貯水量 (千 m <sup>3</sup> )	常時満水位 (m)	湛水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	形式	受益面積 (ha)	関係市町村
聖台	美瑛川 宇莫別川	中宇莫別	かんがい	昭和 12年	57.10	3,999	3,981	278.2	0.510	29.7	485.4	アース ダム	1,022	旭川市 東神楽町
水沢	美瑛川 水沢川	水沢	かんがい	昭和 39年	3.10	945	906	303.5	0.220	14.5	125.2	アース ダム	483	美瑛町 旭川市
しろがね	美瑛川 オヤウンナイ川	白金	かんがい	平成 4年	直接流域 6.00 間接流域 67.00	6,800	6,664	512.5	0.485	63.5	611.0	フィル ダム	水田 158 畑 7,294	美瑛町 上富良野町 中富良野町
新区画	美瑛川 置杵牛川 ニタチバウマナイ川	新区画	かんがい	昭和 49年	直接流域 5.10 間接流域 38.50	5,600	5,223	291.6	0.455	32.3	274.7	アース ダム	水田 1,280 畑 204	旭川市 東神楽町 美瑛町

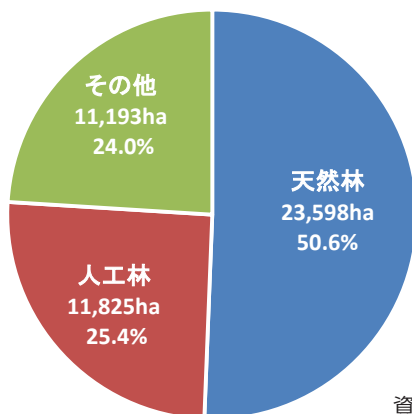
林業では、森林面積が全町の約7割を占め、その約1/3が民有林であり、この多くが人工林となっています。

森林は、木材生産に限らず、生物の多様性や温暖化防止等の環境形成・土砂災害防止といった多面的機能を有しており、これらを持続的に機能させるためには、適切な森林整備が必要です。

美瑛町の民有林は適切な森林管理を行っており、令和元年に持続可能な森林と認められ、SGEC森林認証<sup>※</sup>を取得しました。



図16 森林面積 (ha) (令和4年4月現在)



資料：北海道林業統計



※SGEC森林認証制度については、SGEC「緑の循環」認証会議ホームページを参照ください。  
一般社団法人緑の循環認証会議【<http://sgec-eco.org/>】

## ◎商工業

豊富な農産物と観光資源を基礎として、農業や観光産業はもとより、多くの商工業が営まれてきました。しかし、人口減少や後継者不足、商圈拡大による消費の流出など、厳しい状況が続いています。

こうした中、地域活性化を目指して整備された「丘のまち交流館 bi.yell」では、施設を利用した催しの開催、魅力ある多彩な展示による集客、美瑛ブランドの創出等に取り組んでいます。また、町内2カ所の道の駅を活用し、中心市街地と観光エリアの人の流れを活性化するとともに電子地域通貨「Be コイン」の普及による町内消費の拡大が期待されます。



表7 商工業の状況

区 分	平成 26 年度			平成 30 年度		
	事業所数	従業員数 (人)	販売額 (百万円)	事業所数	従業員数 (人)	販売額 (百万円)
A～B 農林漁業	25	273	3,919	26	231	4,275
C 鉱業、採石業、砂利採取業	2	12	—	1	2	—
D 建設業	38	314	—	32	289	—
E 製造業	29	241	5,354	31	382	7,122
F 電気・ガス・熱供給・水道業	1	4	—	1	4	—
G 情報通信業	1	2	—	1	5	—
H 運輸業、郵便業	21	258	—	16	306	—
I 卸売業、小売業	99	652	19,710	123	797	15,882
J 金融業、保険業	3	18	—	3	32	—
K 不動産業、物品賃貸業	9	18	69	12	19	729
L 学術研究、専門・技術サービス業	10	20	100	12	29	868
M 宿泊業、飲食サービス業	91	414	2,186	104	521	2,650
N 生活関連サービス業、娯楽業	31	78	684	34	72	383
O 教育、学習支援業	10	43	—	10	46	—
P 医療、福祉	23	263	1,187	28	299	1,462
Q 複合サービス事業	8	85	—	7	107	—
R サービス業(他に分類されないもの)	25	146	—	28	220	—

資料：平成 26 年度（平成 24 年経済センサス - 活動調査 事業所に関する集計 - 産業横断的集計（売上（収入）金額等））  
 資料：平成 30 年度（平成 28 年経済センサス - 活動調査 事業所に関する集計 - 産業横断的集計（売上（収入）金額等））



◎建設

美瑛町の町道は、沢地を通り市街地と集落を連結する道路、丘陵地帯の高台を通り集落と耕地を結ぶ道路、沢と沢とを横断し集落を結ぶ道路に大別され、511 路線 655.7km を有していますが、地域が広大であることと地理的要因により改良率は 67.7% (443.9km)、舗装率は 50.3% (329.7km) となっています。

水道施設が整備されているのは、本町地区（市街地から旭・下宇莫別地区）、白金地区（白金から置杵牛）、平和地区（美沢から瑠辺藜）、五稜地区（五稜から旭地区の一部）となっています。公共下水道事業は、昭和 49 年度に基本計画が立案され、昭和 51 年度に着手して以来、処理普及率は 66.6%となっています。

表 8 町道

路線数	実延長 (m)	改良済 (m)	未舗装道(m)	舗装道 (m) セメント系	舗装道 (m) アスファルト系	簡易舗 (m) アスファルト系	舗装合計
511	655,684	443,966 (67.7%)	325,974 (50.3%)	6,559 (1.0%)	108,188 (16.5%)	214,964 (32.8%)	329,711 (50.3%)

表 9 橋梁

橋梁数	延長 (m)	面積 (m <sup>2</sup> )	永 久 橋		
			橋梁数	延長 (m)	面積 (m <sup>2</sup> )
164	3,538	26,927	164	3,538	26,927



表 10 上水道の状況

項 目		
行政区域内人口	(人)	9,609
給水区域内人口	(人)	9,204
給水人口	(人)	8,561
給水戸数	(戸)	4,301
普及率	(%)	93.0
年間総配水量	(m <sup>3</sup> )	982,389
1日平均配水量	(m <sup>3</sup> )	3,219
1日1人平均配水量	(ℓ)	376
管路布設総延長	(km)	316
浄水場施設	(力所)	5

表 11 公共下水道の状況

項 目		
計画処理区域	(ha)	368
雨水管渠延長	(m)	53,960
汚水管渠延長	(m)	67,270
計画人口	(人)	6,100
行政区域内人口	(人)	9,609
処理区域内人口	(人)	6,396
行政人口普及率	(%)	66.6
処理区域内水洗普及率	(%)	97.2

(令和 4 年 3 月 31 日現在)

◎福祉

表 12 国民年金の状況

	被保険者数				受給者（拠出）	受給者（福祉）	
	総数	1号	任意	3号	総数	総数	給付
令和3年度	1,858	1,384	38	436	3,896	0	0

◎保健衛生

表 13 医療施設の状況

病院	診療所	病床	歯科	薬局	保健センター
1	1	98	4	5	1

表 14 ごみ収集と処理の状況（令和3年度）

区分	収集車搬入量		一般車搬入量		合計		備考
	台	重量 (kg)	台	重量 (kg)	台	重量 (kg)	
可燃ごみ	885	1,435,310	12,431	1,174,220	13,316	2,609,530	
不燃ごみ	135	66,040	2,057	382,790	2,192	448,830	粗大ごみ含む
焼却灰	24	7,630	—	—	24	7,630	

表 15 ごみ収集と処理の状況（リサイクルプラザたいせつ）（kg）（令和3年度）

びん類	缶類	ペットボトル	プラスチック	紙類	布類	合計
71,700	36,380	27,780	64,230	0	0	200,090

表 16 社会福祉施設

施設名		定員	
保育所	常設	どんぐり	130人
	へき地	美田	— ※令和元年度から休所
	〃	ルベシベ	30人
	〃	美沢	30人
	〃	下宇莫別	— ※令和2年度から休所
	〃	朗根内	30人
	〃	置杵牛	— ※休所中
	〃	旭	— ※休所中
児童館	なかよし児童館	—	
介護老人保健施設	ほの香	入所 60人 通所 30人	

## ◎観光

美瑛町の観光は、雄大な十勝岳連峰の裾野に湧き出る白金温泉を起源とし、山麓に広がる波状丘陵地帯で営まれている農業の景観が人々に感動を与え、「丘のまちびえい」として全国的に有名になりました。

近年は、砂防整備によって生まれた「青い池」が、幻想的な風景が広がる観光スポットとして多くの観光客が訪れています。

表 17 観光客の入込客数（人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
美瑛町全体	1,659,600	1,679,400	2,261,700	2,419,200	1,295,300	1,062,400
白金地区	461,719	461,179	931,364	1,284,123	543,809	511,637
四季の情報館	147,445	157,749	154,409	128,197	36,974	32,192
十勝岳火山砂防情報センター	12,358	12,779	12,819	13,879	7,351	5,892
道の駅びえい「白金ビルケ」	18,610	13,115	299,496	278,581	189,356	162,411

※道の駅びえい「白金ビルケ」…（旧）白金インフォメーションセンターが、平成 30 年 5 月 12 日から道の駅びえい「白金ビルケ」としてリニューアルオープン。

表 18 美瑛駅乗車人員（人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
乗車人員	189,070	186,880	179,215	173,118	123,370	120,450

## ◎イベント

町では 1 年を通じた交流人口の拡大や「丘のまちびえい」のブランド力向上を目的としたスポーツイベントを開催しています。6 月には「丘のまちびえいヘルシーマロン」、9 月には「丘のまちびえいセンチュリーライド」、2 月には「丘のまちびえい宮様国際スキーマラソン」を開催し、道内外のスポーツ愛好家へ四季折々に移りゆく美瑛の魅力を発信しています。



## ◎消防・警察

表 19 車両の状況（令和 4 年 3 月 31 日現在）

車両種類	ポンプ車	タンク車	水槽車	救急車	指揮車	人員輸送車	資機材搬送車
台数	7	1	2	2	1	2	3

表 20 救急活動の状況（令和 3 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日）

事故種別	火災	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計	1 日当
出動件数	3	25	11	0	87	4	327	91	7	555	1.52
搬送人員	3	25	13	0	83	2	316	90	2	534	1.5

◎教育・文化

美瑛町は地理的条件から学校数が増え、最も多い時には小学校 22 校、中学校 11 校の計 33 校を数えました。しかし、少子化に伴い児童生徒数が減少し、平成 11 年度には学校統合検討委員会が設置され、整備統合についての検討がなされました。その結果、現在は小学校 5 校、中学校 2 校の計 7 校まで減少し、児童生徒数は 641 人となっています。

図書館は、昭和 38 年に建設された公民館施設内に図書室として設置されたのが始まりで、昭和 54 年の大規模改修によって 1 階が図書館、2 階を郷土資料館として運用していました。しかし、建物の老朽化により新たな図書館・郷土資料館の建設が検討され、平成 24 年 6 月に新図書館がオープンしました。また、本町の郷土・自然及び天文について町民をはじめ多くの人々が学ぶことのできる施設として『丘のまち郷土学館「美宙」』が平成 28 年 7 月にオープンしました。

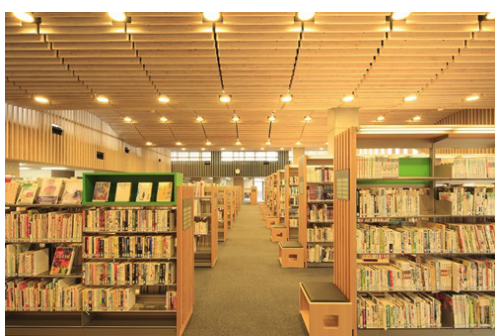


表 21 学校の状況（令和 4 年 5 月 1 日）

区分	学校数	学級数	教員数
小学校	5	49	87
中学校	2	18	42
高校	1	3	13



表 22 園児・児童・生徒数（令和 4 年 5 月 1 日）  
（保育所・幼保連携型認定こども園は令和 4 年 3 月 31 日現在）

区分		児童生徒数	年齢別						
			0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
保育所	2・3号認定	129	16	17	14	21	27	34	
幼保連携型 認定こども園	1号認定	80			5	11	6	13	
	2・3号認定			12	6	10	9	8	
区分		児童生徒数	学年別						
			1	2	3	4	5	6	うち特別支援
小学校		423	67	53	80	68	71	84	98
中学校		218	82	68	68				42
高校		86	29	27	30				

表 23 郷土学館の利用状況（令和 3 年度）

開館日数	277 日
入館者数	3,099 人
うち天文台	410 人
展示数	約 150 点
収蔵数	約 2,000 点

表 24 図書館の利用状況（令和 3 年度）

開館日数	261 日
入館者数	40,387 人
利用者数	16,858 人
総貸出冊数	83,700 冊
蔵書冊数	73,843 冊
町民 1 人当貸出数	8.7 冊
町民 1 人当蔵書数	7.7 冊